

記入日: 2018年4月7日

活動名	性的搾取から子どもを守るための アウトリーチおよび政策提言	団体名称	非営利活動法人 人身取引被害者サポートセンター ライトハウス
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動の目的	②児童虐待や性暴力などの被害児童・社会的養護を必要とする子どもの支援
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
性的搾取の被害に遭った子どもや潜在的な脅威にさらされている子どもが、ライトハウスで作成した相談カードを見ることで、自身の受けている被害が相談していいということ、また相談先があるということ、被害が深刻化する前に気づき、助けを求め、支援者の介入が可能となるためのトリガーとして、子どもたちの立ち寄りそうな場所に相談カードを設置し、被害児童が孤立化しない仕組みを作る。		スタッフの入れ替わりなどがあり、当初予定より大幅に遅れていたが、実施者の増員を行ない、徐々に盛り返しているところである。	・カードデザインやコンテンツ等については、既に業者との詳細打合せを何度かにわたって行い、ほぼほぼ、内容が固まってきた。 ・今月中にいくつかの配置先候補にあたりをつける。
■活動目標	性的搾取の被害児童ならびに、潜在的な脅威の中にある児童の孤立、被害の深刻化を防ぐ仕組みを構築し、有意性高いアウトリーチ・支援体制を確立すると同時に、中央省庁へ被害事例の共有等を行い、今後の施策に繋げる。		
■長期成果	<ul style="list-style-type: none"> 一人でも多い被害児童の救出、環境改善など具体的な支援の実施 より具体的な被害実態の把握 被害実態に基づいた対策の立案・導入に向けた政策提言 		
■活動風景			
			
カードデザイン・コンテンツに係る打合せ1		カードデザイン・コンテンツに係る打合せ2	
■上期の成果と下半期に向けた改善点		■実施体制	
上半期は、人手不足や相談支援事業の増加などが重なり、予定より大幅な遅れが見られている。事業期間内での完了のため、当該事業に対し、常勤スタッフ全員が関わる形とし、また外注できる部分については、受注業者が一部をプロボノとして対応いただけるといった体制に改善した。		<ul style="list-style-type: none"> ・団体常勤スタッフ5名にて、コンテンツ、デザインの最終的な詰めを行なう。 ・常勤スタッフ2名(新規採用者含め)を設置先候補との交渉に改めて選定した。 ・常勤スタッフ1名を改めて、外注業者との連絡員に任命し、進捗管理を行なわせる形とした。 ・行政機関、国会議員などに対しては、団体代表ならびに事務局長レベルが、別途政策提言や陳情を行なう中で、当該啓発事業の重要性もお伝えし、本事業から見てくるであろう被害実態や、必要とされる支援についても改めて共有させていただくことをお伝えしている。 	
〒 150-0002 (住所)東京都渋谷区渋谷1丁目3-18-A203 (団体名)特定非営利活動法人 人身取引被害者サポートセンター ライトハウス (ホームページ): http://lhj.jp		助成金額 500,000円	助成期間 H29.9.1~H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。